



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

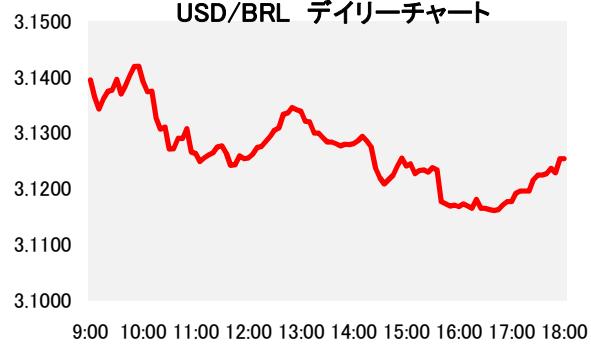
1. マーケット・レート

			7月25日	7月26日	7月27日	7月28日	7月31日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1730	3.1380	3.1510	3.1320	3.1250	-0.0070
	BRL/JPY	Spot	35.28	35.41	35.30	35.34	35.27	-0.07
	EUR/USD	Spot	1.1648	1.1736	1.1678	1.1751	1.1842	+0.0091
	USD/JPY	Spot	111.91	111.14	111.26	110.68	110.26	-0.42
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	8.520	8.500	8.478	8.201	8.162	-0.039
	Future	1Year(p.a.)	8.690	8.255	8.296	8.011	7.964	-0.047
株式	On-shore	6MTH(p.a.)	2.274	2.309	2.220	2.156	2.190	+0.034
	USD	1Year(p.a.)	2.385	2.407	2.377	2.321	2.351	+0.030
株式	Bovespa指数		65668	65011	65277	65497	65920	423
CDS	CDS Brazil 5y		216.51	214.07	215.22	214.12	209.27	-4.85
商品	CRB指数		177.666	179.455	181.142	182.120	182.642	+0.52

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

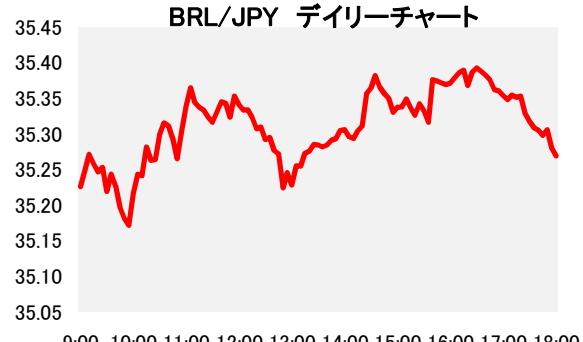
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
(米)シカゴ 購買部協会景気指数	60.0	58.9	65.7
(米)中古住宅販売仮契約(前月比)	1.0%	1.5%	-0.7%
(米)ダラス連銀製造業活動	13.0	16.8	15.0



3. 要人コメント

メイレレス伯財務相	現時点では追加の増税は計画していない。
-----------	---------------------



4. トピックス

- 本日のレアルは3.1400で寄り付き、間もなく日中安値となる3.1420をつけた。原油価格の上昇を背景にレアルは朝方から堅調に推移。その後、トランプ米大統領が10日前に就任したばかりの広報部長を解任したとの報道を受けてドルが売られると、レアルは日中高値3.1160を示現。引けにかけては利益確定の売りが出て結局3.1250でクローズ。
- 本日公表された伯中銀によるアナリスト予想集計では、2017年のGDP成長率予想が0.34%、2018年予想が2.0%にいずれも据え置かれた。インフレ率は2017年予想が3.33%から3.40%へ2週連続で引き上げられ、2018年予想は4.2%で不変だった。政策金利予想は2017年末が8.0%で据え置かれ、2018年末が8.0%から7.75%に引き下げられた。
- 週末にベネズエラ政府が選挙を強行し、強権政治を強めかねない制憲議会が発足したことを受け、米政府がベネズエラに対して経済制裁を検討するとの見方が広がった。ベネズエラからの原油供給が滞るとの見方から原油価格は上昇し、WTI先物は2ヶ月振りに50ドルを回復した。原油価格の上昇を受けてボバースパ指数は2ヶ月半ぶりの高値を更新し、一時66000を上抜けた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて、お客様自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。